

## 観るだけで終わらない、何度も来館したくなる博物館を目指して

当館の「展示・イベント案内（通称：ミュージアムカレンダー）」は、催物の紹介だけでなく、ポイントカードの要素を取り入れた広報物になっています。有効期限内の来館回数に応じて、4種類のオリジナルグッズをプレゼントしています。グッズの内容は数年ごとに入れ替えをおこない、「来るたびに新しい発見がある博物館」を目指しています。

令和5年度に向けて内容の一部入れ替えを検討するにあたり、「博物館を身近に感じてもらえるグッズ」をテーマの1つに掲げました。普段の生活でも使えて、博物館らしさやオリジナリティも出したい…。文字にすると簡単ですが、具現化するととなると難しいものです。

そこで、今回は「来館者の反応を見てみたい」という試験的な意味も含めて「クリアファイル」、「缶マグネット」を採用することにしました。「クリアファイル」はポイント集めの楽しみ、ちょっとした書類の保存を目的にミュージアムカレンダーと同じA5サイズとし、デザインを2種類用意しました。また、「缶マグネット」は「展示物」や「埼玉の自然」に関係があるものをデザインの題材とし、題材に対する解説を入れ、自然に興味を持ってもらうことを目的にしました。

展示を観るのも楽しい、グッズを集めるのも楽しい、気がついたら自然に関する様々な知識も身についていた…。そんな博物館が埼玉県にあったら嬉しいですね。（秋元 清二／主任）



試作中のクリアファイルと  
缶マグネット

## 展示のお知らせ（4月～9月）

	タイトル	期間	内容
企画展示	自然の色と模様	3月11日(土)～6月18日(日)	自然界に見られる色と模様について、役割と多様性を紹介します。
企画展示	はね 一飛ぶ羽・鳴く翅・すごいハネー	7月1日(土)～10月15日(日)	「はね」を持つ生きものや「はね」の多様な機能を紹介します。
パネル展示	発色のしくみ	2月28日(火)～6月18日(日)	「色」が見えるとはどういうことかを、パネルや写真で解説します。
トピック展示	県の石 一埼玉県の岩石・鉱物・化石一	6月20日(火)～10月15日(日)	埼玉県の石である「片岩」、「スティルブノメレン」、「パレオパラドキシア」の魅力を紹介いたします。

※開館時間：9：00～16：30（7・8月は17：00まで） 入館は閉館30分前まで

※休館日：月曜日（祝日、振替休日、GW、7・8月は開館） 燻蒸のため休館：9月4日(月)～9月11日(月) その他、臨時休館あり

※その他イベントについては、リーフレット（展示・イベント案内）またはホームページ（<https://shizen.spec.ed.jp/>）をご覧ください

## 飾り羽、ぴろぴろ — 身近な鳥のちょっと面白い姿 —（表紙解説）

表紙の写真は、強風で頭の飾り羽が乱れているアオサギです。本来、この飾り羽は後頭部側へスッと伸びていますが、風の強い日にはこのような面白い光景が見られることがあります。

この写真は、パネル展「水辺の鳥」（令和4年10月18日～令和5年2月26日）で紹介しきれなかったものです。この展示では、私たちの身近にいる水辺の鳥やその観察のポイントを紹介しました。野鳥観察の醍醐味の一つは、鳥との一期一会の出会いです。憧れの鳥や美しい鳥と出会ったときの感動は格別ですが、身近な鳥のちょっと面白いシーンとの出会いにも心が躍るものです。表紙のアオサギは必死に強風に耐えているのかもしれませんが、飾り羽の乱れ具合や妙に真剣な面構えは、なんだかコミカルに映ります。水辺の鳥は身近でじっくり観察できるからこそ、こういったシーンと出会えるチャンスも多いです。水辺の鳥を通して「自分だけのシーンとの出会い」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

（本多 里奈／学芸員）